

氏名	木村穂積
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第550号
学位授与の日付	昭和48年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	出血傾向発現に関する電子顕微鏡的研究
論文審査委員	教授 田中早苗 教授 小川勝士 教授 平木 潔

学位論文内容の要旨

出血傾向発現に関与する血管側の因子を追求するには、まず血球の血管壁通過の過程を visualize することから出発すべきであると考え、実験的に出血傾向を発現させ、著者の考案した腸間膜標本平板包埋法にて包埋し、出血血管を超薄切片となし、電顕観察し、その機序を形態学的に検討した結果、以下の結論を得た。

- 1) 赤血球の漏出は、interendothelial gapへ嵌入 (engage in) することよりはじまるが、内皮細胞の細胞質破壊がすすめば、内皮細胞を穿通し漏出する赤血球もみられた。
- 2) 内皮細胞の外側 (periendothelial space) に嵌入している多数の赤血球が主として基底膜で block されている所見をえた。
- 3) 出血傾向誘発方法のいかんを問わず、漏出過程の赤血球と同じレベルに常に血小板が観察された。
- 4) adventitial macrophageが出血傾向発現の monitor であるという所見をえた。これが微小循環系を何らかの形で規制していると思われる。
- 5) 出血傾向発現時の血管側の因子として、基底膜および macrophage が重要であるという所見をえた。

論文審査の結果の要旨

本研究は、出血傾向発現に関する電子顕微鏡的研究で、出血傾向発生時における毛細血管より血球の漏出してくる状態を電子顕微鏡学的に追求していったもので、すぐれた新知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。